

## 株式会社リンガーハット、リンガーハットジャパン株式会社及び浜勝株式会社の産業競争力強化法に基づく事業適応計画の認定について

農林水産省は、株式会社リンガーハット（法人番号：5310001001011）、リンガーハットジャパン株式会社（法人番号：2310001003811）及び浜勝株式会社（法人番号：1310001003812）からそれぞれ提出された「事業適応計画」について、令和4年7月22日付けで認定を行いました。

### 1. 事業適応計画の認定

株式会社リンガーハット、リンガーハットジャパン株式会社及び浜勝株式会社（以下「申請者」という。）からそれぞれ提出された「事業適応計画」について、産業競争力強化法第21条の15第4項の規定に基づき審査した結果、同法第2条第12項に規定する事業適応を行うものとして、同法に定める認定要件を満たすと認められるため、令和4年7月22日付けで「事業適応計画」の認定を行いました。

また、同法第21条の28第1項の規定に基づき審査し、同法第21条の15第4項に規定する事業適応を行うものとして、同法規定に基づく「経済社会情勢の著しい変化に対応して行うもの」として主務大臣が定める基準に適合することを確認しました。

今回の認定により、申請者は税制措置の適用を受けることが可能になります。

### 2. 申請者の概要

名称：株式会社リンガーハット  
代表者：代表取締役社長笹野諸延  
住所：長崎県長崎市鍛冶屋町6番地50号

名称：リンガーハットジャパン株式会社  
代表者：代表取締役社長福原扶美勇  
住所：長崎県長崎市鍛冶屋町6番地50号

名称：浜勝株式会社  
代表者：代表取締役社長山岡雄二  
住所：長崎県長崎市鍛冶屋町6番地50号

### 3. 事業適応計画の実施時期

令和4年8月～令和8年2月

### 4. 申請者の事業適応計画の概要

新型コロナウイルス感染症の長期化により、外食産業においても、外食機会の減少や外食を控える傾向がある中、テイクアウトやデリバリーサービス、冷凍食品の販売が増加するなど、事業を取り巻く環境の著しい変化への柔軟な対応が求められ、競合他社との競争はより一層厳しさを増す状況となっている。リンガーハットグループとして現状に対応する策として、非接触・非対面

方式でリンガーハットブランドの冷凍商品を24時間いつでも購入していただける冷凍商品自動販売機を全国に展開することにより、中食事業の拡大へ新たな事業展開を起こす。

## 添付資料

---

(別添1) 事業適応計画のポイント(PDF : 790KB)

(別添2) 認定事業適応計画の内容の公表(PDF : 241KB)

**【お問合せ先】**

新事業・食品産業部外食・食文化課

担当者：平山、大島

代表：03-3502-8111 (内線4353)

ダイヤルイン：03-6744-2053

- ▶ リンガーハットグループは、長崎ちゃんぽん専門店・とんかつ専門店を中心に事業を展開・発展させてきたが、コロナ禍における顧客の  
外食機会の減少や食生活の変化を踏まえ、新たな食の提供機会の創出を実施していく。
- ▶ 新たな販売方法として、冷凍商品の自動販売機を全国に設置する事業を展開する。24時間購入可能かつ非対面・  
非接触での販売方式であり、自宅で手軽に専門店の味を楽しめることができ、今後の市場成長も見込まれる冷凍食品  
自動販売機を早期導入拡大することで、中食事業の拡大へ新たな事業展開を起こしたい。

## <事業適応計画の概要>

### 1. 事業適応計画の実施期間

2022年8月～2026年2月

### 2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

計画終了年度において、R O Aが基準年度(2022年2月期)より  
5%ポイント以上上回ることを目標とする。

### 3. 前向きな取組の内容

計画終了年度において、冷凍商品自動販売機の売上高が全体の  
売上高の1%以上となることを目指す。

### 4. 支援措置

税制措置（繰越欠損金控除上限の特例）

## <取組の内容のイメージ>

専門店の味を24時間購入可能



## 様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

### 認定事業適応計画の内容の公表

#### 1. 認定の日付

令和4年7月22日

#### 2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社リンガーハット

リンガーハットジャパン株式会社

浜勝株式会社

#### 3. 認定事業適応計画の内容

##### (1) 事業適応に係る事業の目標

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が発出されたことにより、休業や営業時間短縮を余儀なくされ、売上高の減少及び損失を計上する事態に陥った。新型コロナウイルス感染症の影響は現在も続いており、コロナ禍前の状態に戻ることは早急には難しいことに加え、お客さまの外出機会は大きく減っている状況にある。このような状況の中、店舗に来店して食事を楽しむ以外に、新たな販売方法を模索する中で、冷凍商品の自動販売機を設置する事業を展開しようと考えた。24時間購入可能かつ非対面・非接触での販売方式であり、自宅で手軽に専門店の味を楽しむことができ、今後の市場成長も見込まれる冷凍食品自動販売機を早期導入拡大することで、売上高拡大及び収益向上を図りたい。

##### (2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

計画終了年度である2026年2月期のROAが、基準年度である2022年2月期を5%ポイント以上上回ることを目標とする。

##### (3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2026年2月期において、株式会社リンガーハットの有利子負債はキャッシュフローの3倍以下、経常収支比率は100%を上回る予定であり、リンガーハットジャパン株式会社及び浜勝株式会社の有利子負債はキャッシュフローの1倍以下、経常収支比率は100%を上回る予定である。

##### (4) 事業適応の類型

成長発展事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

飲食料品小売業（分類コード：58）

（選定理由）

株式会社リンガーハットは、長崎ちゃんぽん専門店・とんかつ専門店を中心に事業を展開・発展させてきたが、コロナ禍における顧客の外出機会の減少や食生活の変化を踏まえ、新たな食の提供機会の創出として、冷凍食品自動販売機を展開することで、同事業における事業適応を実施していく。

(6) 事業適応の具体的内容

我が国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の長期化により、個人消費の停滞が続き、先行きは依然として不透明な状況が続いている。外食産業においても、外出機会の減少や外食を控える傾向がある中、テイクアウトやデリバリーサービス、冷凍食品の販売が増加するなど、事業を取り巻く環境の著しい変化への柔軟な対応が求められ、競合他社との競争はより一層厳しさを増す状況となっている。株式会社リンガーハットとして現状に対応する策として、非接触・非対面方式でリンガーハットブランドの冷凍商品を24時間いつでも購入していただける冷凍食品自動販売機を全国に展開することにより、中食事業の拡大へ新たな事業展開を起こしたいと考える。以上により、計画最終年度である2026年2月期において、冷凍食品自動販売機の売上高が全体の売上高の1%以上となることを目指す。

・産業競争力強化法第21条の28第1項の規定に基づく経済社会情勢の著しい変化に対応して行うものとして主務大臣が定める基準への適合：有

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期：令和4年8月

終了時期：令和8年2月